



スマホ向け無料アプリ「カタログポケット」や広報きみつHTML版で掲載しきれなかった写真を紹介しています。

写真：①上総小櫃地区／②③八重原地区／④⑤⑥⑦君津地区



冬の寒気をまとった風が吹き付ける中、1月11日(日)、市内7会場で20歳のつどいが開催されました。今年度中に20歳になる総勢856人の若者が、希望と感謝の思いを胸に、未来に向かって新たな第一歩を踏み出しました。

今回、市の広報では、君津市民文化ホールで行われた八重原中学校区、君津中学校区の式典と、今年度から久留里・松丘・亀山・小櫃の4地区合同での開催となつた上総小櫃地区の式典を取材しました。(他会場で撮影された写真は

特集

20歳のつどい 2026

はじける
笑顔
晴れやかに!



冬

次のページで紹介しています)色鮮やかな晴れ着や羽織袴、真新しいスーツに身を包み会場に集まつた20歳の皆さん。友人たちとの久しぶりの再会を喜ぶその姿は、冬の寒さを吹き飛ばすほどの熱量を感じました。

式典では、石井市長をはじめ、恩師や多くの来賓の皆さんからお祝いと激励の言葉が贈られました。上総小櫃地区代表の牧野心奈さんは「四校の合併が行われ大きな変化を経験した中学校生活は、新型コロナウイルスの影響で行事の縮小や分散登校など、不安や戸惑いの多いスタートでしたが、先生や仲間の存在に支えられ笑顔で卒業式を迎えることができました。これからは、感謝の気持ちを忘れず、にそれぞれの場所で誰かを笑顔にしていきたいです」と、感謝の思いと新たな決意を述べました。

4校の合併を経験し、コロナ禍を乗り越えてきた皆さん。これから先の人生では、あの日の経験が力となることでしょう。20歳を迎えた皆さんの人生に、たくさん笑顔があふれますように!